

# 全国都市再生モデル調査報告

～ 港を中心としたまちづくり検討調査～

石垣市





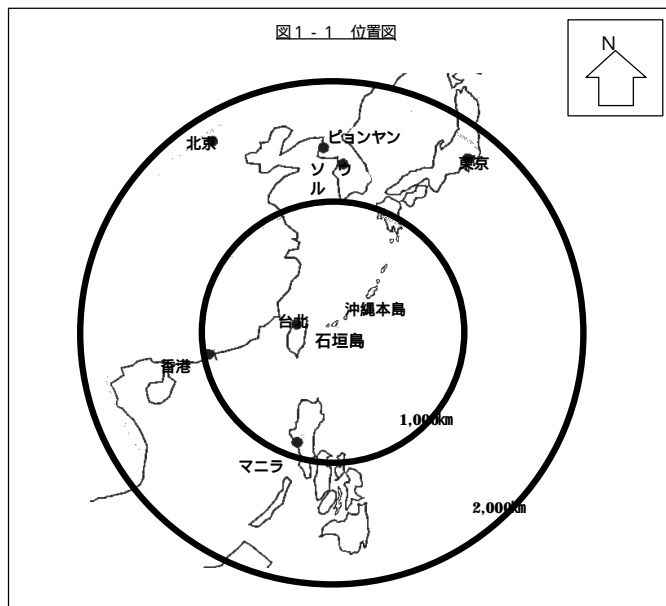
## はじめに

### 港を中心とした街づくり検討調査の実施について

- 石垣市(以下本市とする)は、平成14年度に「海に開かれた交流による都市観光の推進」として本部の選定を受け、まちづくりの基本コンセプト、都市観光の推進の目標及び検討課題としての具体的施策の展開の整理を行った。また、今年度は、昨年度の検討結果を踏まえ、「港を中心としたまちづくり検討調査」(以下本調査とする)として、「全国都市再生モデル調査」の対象地区に選定された。
- 本調査は、社会実験を通じて、観光交流の拠点であり、生活交通の拠点である石垣港を訪れる来訪者の中心市街地への誘導方策を検討することにより、港づくりとまちづくりが連携した都市再生の実現に向けた「まちづくり行動計画」をとりまとめるものである。



## 1.石垣市の都市観光の推進における取り組みと課題



### 石垣島からの距離

沖縄本島	約410km
東京	約1,960km
台湾	約280km
マニラ	約1,220km
ソウル	約1,490km
北京	約1,870km

平成16年2月末現在住民基本台帳人口 45,697人

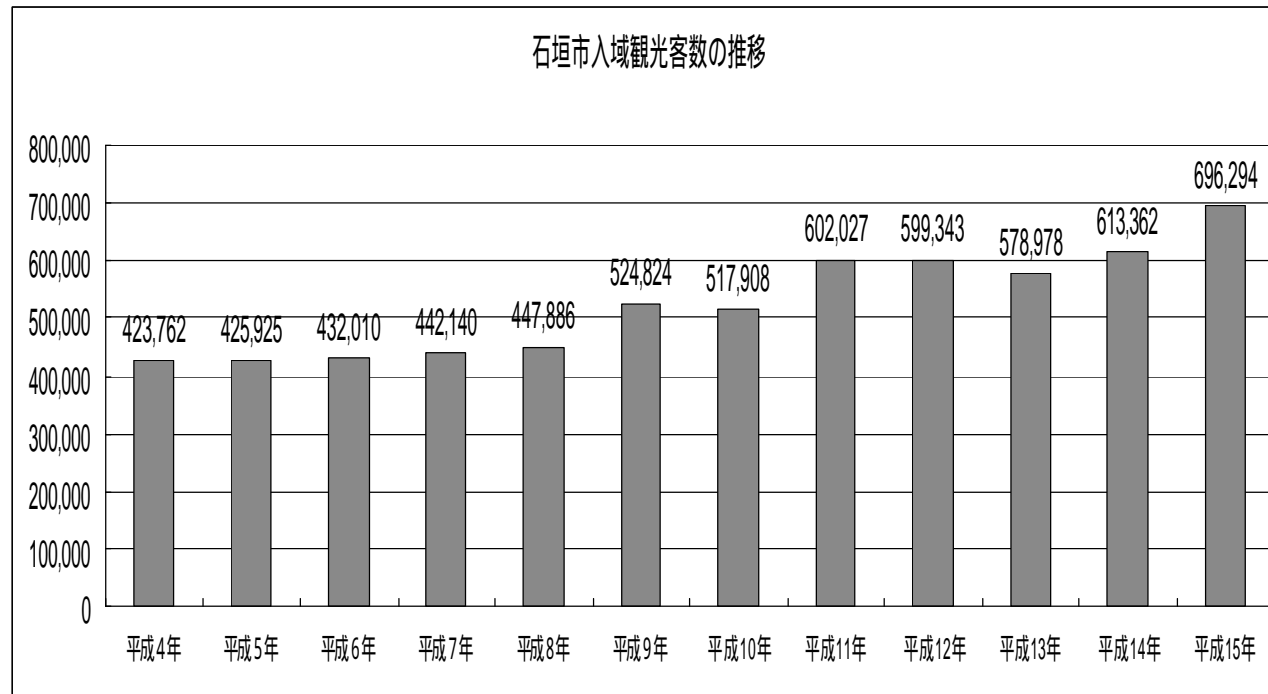
(男 22,844人)

(女 22,853人)

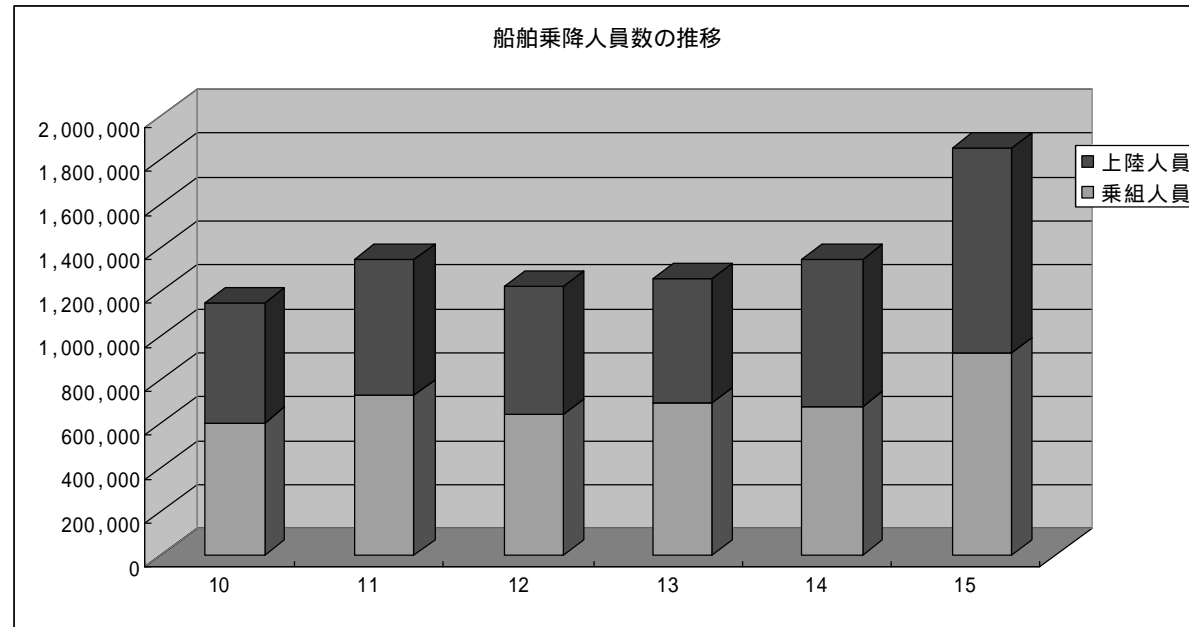
航路图



## 石垣市入域観光客の推移



## 船舶乗降客人員数の推移

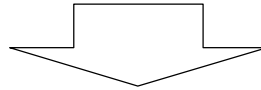


平成15年の乗降人員数185万人のうち、約98%に該当する181万人が今回の調査力所の離島埠頭を利用している

石垣市における都市観光の推進の目標 (平成 14年度の都市再生の取り組み)

《まちづくりの考え方》

『海に開かれた交流による都市観光の推進』



**石垣タウンツーリズム**

「地域の人々や来訪者がふれあえるまちづくり」の実現に向けて

港をゲートとしたまちづくり  
歴史とふれあえるまちづくり  
商店街の再生  
人の流れの再編  
広域拠点連携とネットワーク形成  
まちづくりマネジメント

《都市観光推進上の目標》

## ようこそ ともーるへ 交流拠点いしがき

～海に開かれた交流による都市観光の推進のために～

- ➔ **1. 観光拠点・生活拠点にふさわしい港づくり**  
...石垣港離島ふ頭再開発事業など港湾計画の推進により、安全性、利便性に富んだシンボリックな港づくりを進める。また、民間活力の導入により、石垣港にふさわしい施設整備を誘導する。
- ➔ **2. わくわく拠点づくり**  
...中心商店街と石垣港との結節点として、「わくわく駐車場」周辺を商業・文化・余暇・業務・住居・交通等の機能を複合した拠点として再整備する。
- ➔ **3. 楽しい商店街づくり**  
...賑わい拠点の整備や景観の整備、商業活性化のためのソフト事業の推進など、観光客と市民で賑わう、歩いて楽しい商店街づくりを推進する。
- ➔ **4. 港から街なかへ人を誘うルートづくり**  
...シンボリックな港から街なかへ人を誘うルートづくり、わくわく駐車場周辺と港、商店街（市場）を巡るルートづくりを行う。
- ➔ **5. もてなしの人づくりと観光情報の発信**  
...観光客と買い物客をもてなす人づくり、もてなす仕組みづくりを進める。





石垣港離島さんばし

八重山圏域の離島への玄関口であり  
約180万人の乗降客があり活気がある

徒歩で10分

バスターミナル

中央商店街  
公設市場

空き店舗がみられ、中心市街地の空洞化がみられる



## 2. 港とまちを結ぶ社会実験の実施と検証

### (1) 社会実験の目的

港から街なかへの動線誘導を図り、その効果や課題を検討することにより、今後の都市観光の推進に生かしていくことを目的とする。

### (2) 社会実験の概要

離島さんばしから730交差点までの路面の着色  
離島さんばしからあやばにモールまでの案内板の設置  
730交差点付近における懸垂幕の設置  
案内マップの配布

### (3) 実験の実施時期

平成16年2月16日(月)から2月29日(日)までの2週間実施した。

### (4) 評価の手法

社会実験の結果の評価としては、実際に港から街なかまで歩いた人を対象としたアンケート調査、モール内の個別商店のインタビュー調査を行った。アンケート調査については、社会実験のPRも兼ねて実験期間中継続して実施した。インタビュー調査については社会実験の最終日に実施した。

# 路面の着色



## 案内板の設置



## 懸垂幕の設置



# アンケート・マップの配布



案内板の設置 マップの配布



## アンケートの回収

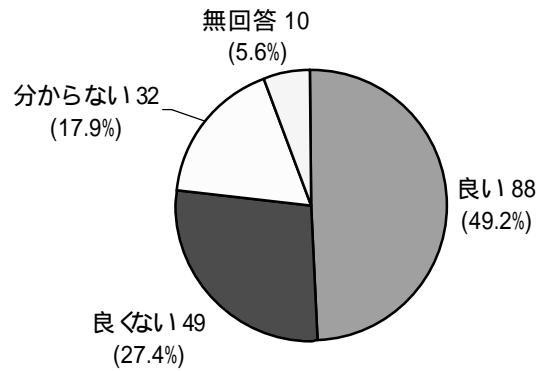


公設市場内の「いちば食堂」  
でアンケートを回収



# 1)アンケート結果

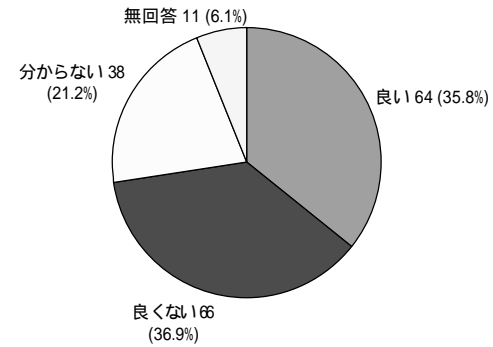
港づくりについて



良い理由  
船便の利便性や効率性

悪い理由  
ごみの多さやわかりづらさ

商店街のまちづくりについて

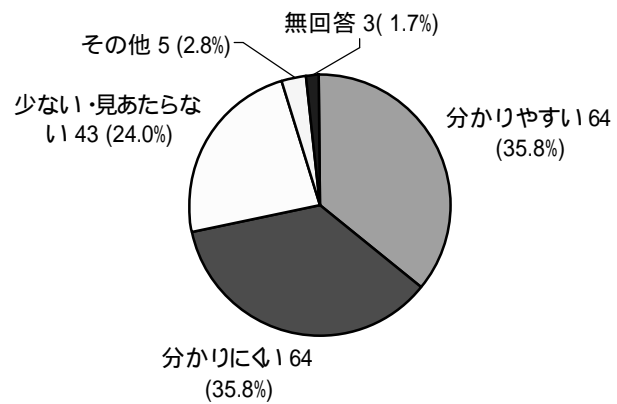


良い理由  
お店の個性や雰囲気

悪い理由  
賑わいがない  
さみしい感じがする

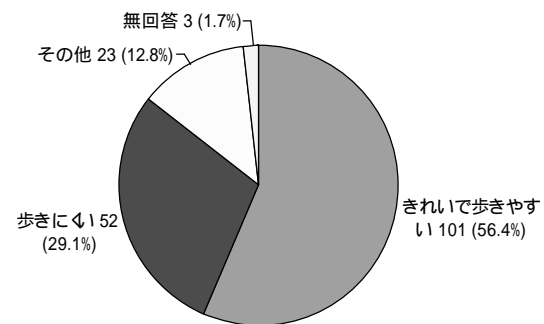


### 案内板について



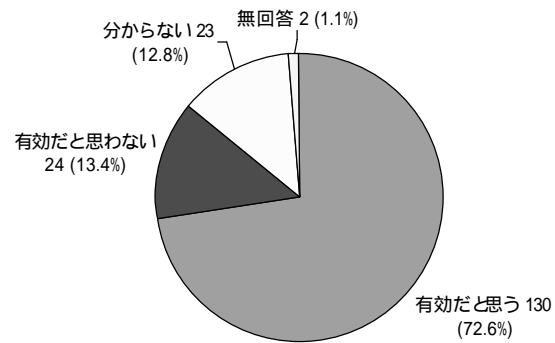
設置数や分かりやすさに課題がある

### 路面着色・歩道について



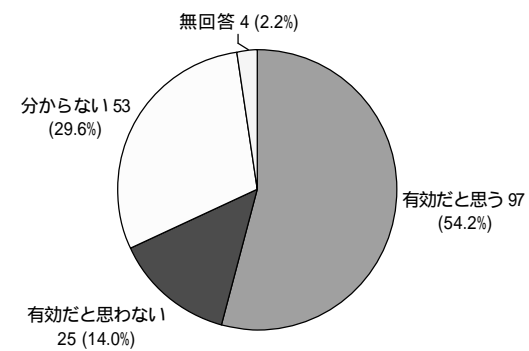
設置数や分かりやすさに配慮すれば効果が期待できる

案内板・路面着色の有効性について



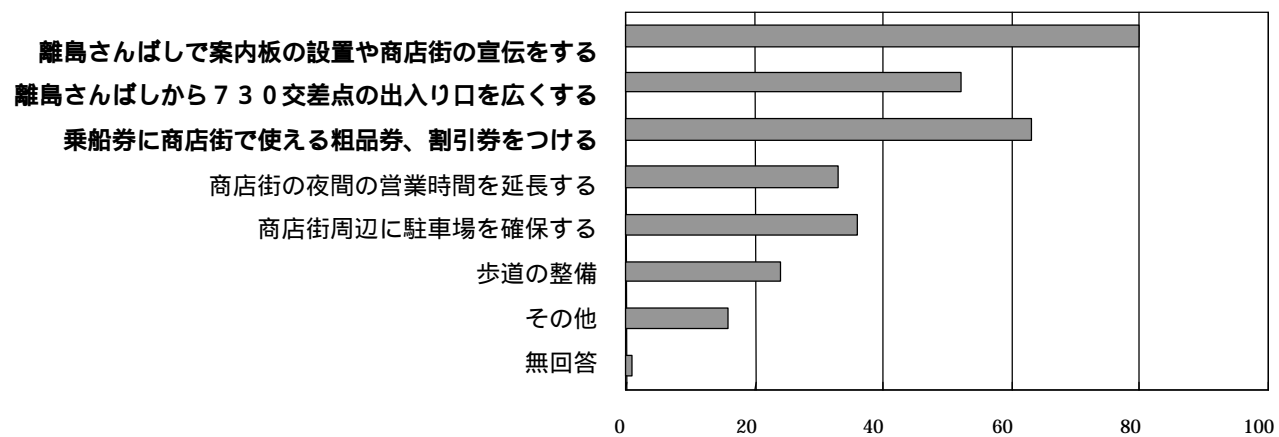
設置数や分かりやすさに配慮すれば効果が期待できる

730交差点のスクランブル化について



他県からの来訪者よりも石垣市内在住の方のほうが高い期待をだしている

## 港から市場等への誘導方法について



## 2)商店街インタビュー調査

多くの店が「人通りは増えた」と回答しており、案内板や路面着色については、「今後も継続してやっていくべき」という回答を多くいただいた

その反面、「意見がどこまで反映されるのかわからない」、「現場の意見が大切」、「地元の意見を聞きながらやってほしい」などの意見も多くあり、今後の要検討課題として考えられる。

### 3)懇談会における意見交換

石垣のみなと女性フォーラム」を開催し、社会実験箇所のフィールドワークを実施するとともに、ワークショップによる意見交換を行った。



フィールドワーク及びワークショップ風景



4)社会実験の効果と港づくり・まちづくりの課題のまとめ  
《実験の仕様についての効果と課題》

	効果	課題
案内板、懸垂幕	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人の流れを誘導する上で設置の取り組み自体は有効であった。</li> <li>・懸垂幕は適当な大きさで分かりやすい。目印になりやすい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・案内板は、デザインや設置場所、見やすさ（サイズ、大きさ）等のバランスにもっと配慮して検討することが必要。</li> <li>・既存の案内板の活用や連携が必要だが、デスクスタイルのものは高さ等に問題がある。</li> </ul>
路面着色	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ミンサー織り模様の着色は、石垣をPRするのに有効である。</li> <li>・色合いについては様々な意見があったが、美観・景観上の役割も大きい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実験の仕様では着色区間が分断されており、連続性が必要。また、案内板等とのデザインの統一性が必要。</li> <li>・模様だけだと何のためのものか分かりづらいので、直接文字を入れるなどの検討が必要。</li> </ul>
案内マップ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・案内板だけでなく、紙のマップで持ち歩きできるものは有効。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・さんばし等でもっとPRしながら配布すると良い。</li> <li>・デザインや記入する情報の量・質については検討が必要。</li> </ul>



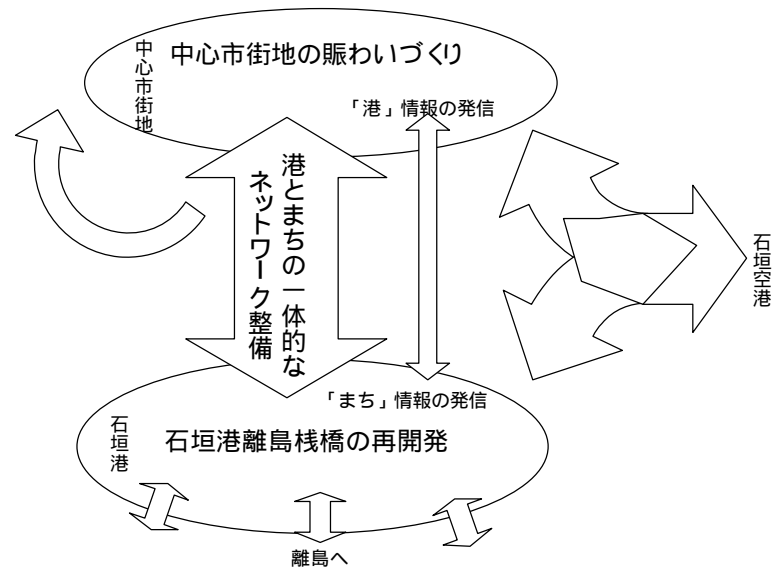


### 3.まちづくり行動計画

#### 3-1 基本方針

これまでの石垣市の都市再生、観光振興及び中心市街地活性化の取り組みにおいて、港湾整備や商店街の活性化、情報機能の充実などが位置づけられ、実現化に向け動いている。これらの取り組みにあわせ、社会実験を通じて観光客や商店街からあがってきた様々な意見・提案を踏まえ、港づくりとまちづくりが連携した都市再生に向け、次のような基本方針を設定する。

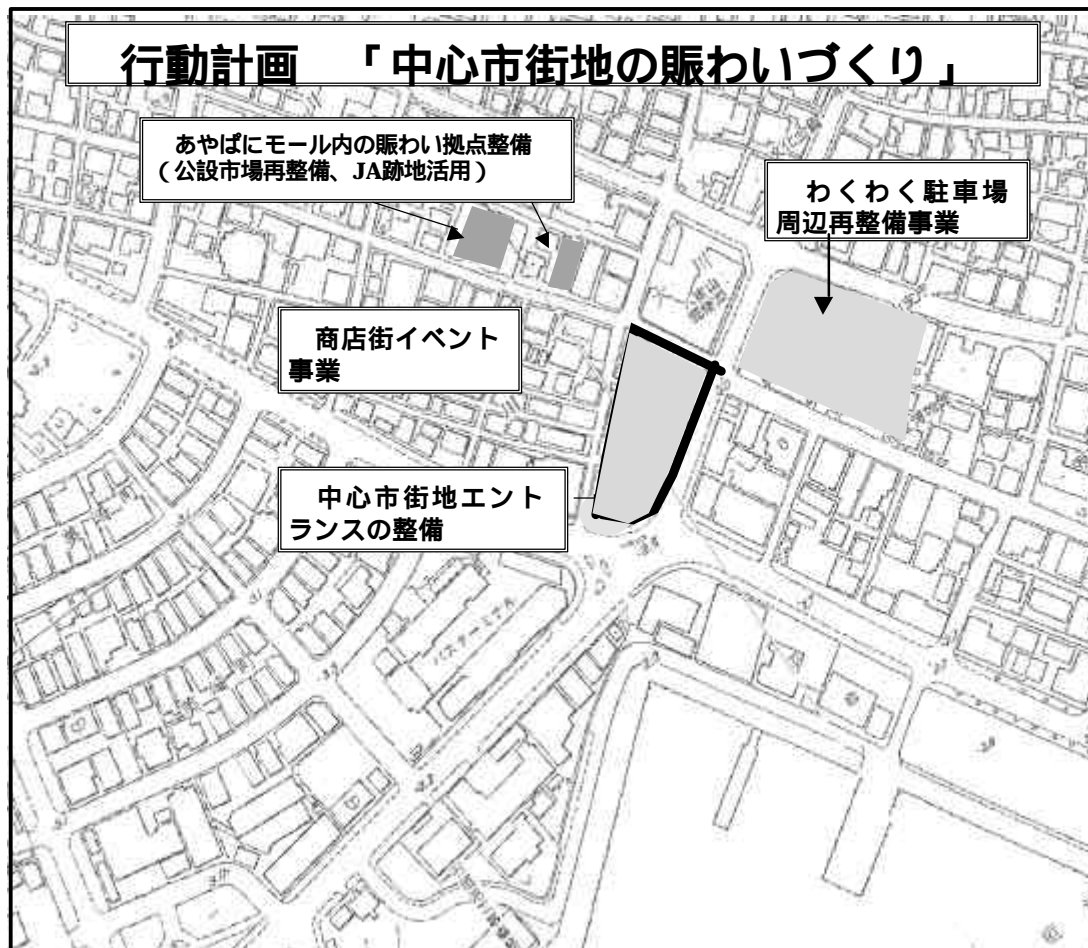
図3-1 基本方針の概念図













## 4. 今後の検討課題

### 1) 市民との協働

港づくりとまちづくりの連携した都市再生の推進にあたって、市民の参加、市民との協働に留意しながら、様々な分野のまちづくりの人材育成に努めていくことが重要である

### 2) 既定プロジェクトとの調整

新石垣空港整備や、それに伴うアクセス道路の事業などをはじめとした既定プロジェクトと十分調整をしながら進めていくことが必要である。

### 3) マネージメント力の強化

中心市街地のまちづくりにあたっては、中心市街地活性化法で位置付けられたTMOである㈱タウンマネージメント石垣の役割が重要である。

### 4) 予算措置及び事業制度の検討

計画的かつ優先的な予算の調整及び確保が必要であり各種のまちづくりの事業制度の導入を積極的に検討していくことが必要である。